

平成23年度 事業計画

平成 23 年度は福祉委員会恒例行事の激励訪問、寝たきり老人訪問、子育て支援、グランドゴルフ大会、ふれあい健康クラブ活動、健康講座、健康体操、災害時要援護者支援等、更に充実させていきます。
又、東日本大震災の様な大惨事が起きた事を想定し、災害時要援護者の支援活動も充実させていきます。
西部学区福祉委員会は昨年度、岡崎市から表彰されました。表彰の名を汚すことの無い様に活動して参ります。
専門部の活動は専門部長が中心になり推進して頂きます。
専門部以外の活動も核になられる方を中心して推進して頂きます。
* 役員（監査役を除く）は各専門部の会議、専門部以外の活動会議に要請があれば参加をする。

広報・研修部

- (1) 広報誌 8 月に発行
- (2) 健康講座 1 0 月実施、地域の開業医の先生に依頼。
- (3) 健康体操参加者増員の広報 (年 3 回)
- (4) 先進地視察研修 11 月

在宅福祉推進部

- 激励訪問 年 6 回会員全員参加で行う独り暮らしの方とお食事会 10 月
- 寝たきり老人訪問 年 2 回 (10 月、1 月)

ふれあい活動部

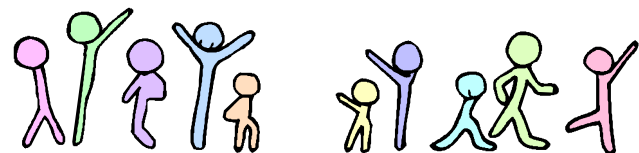
- (1) ウオーク祭り赤い羽根募金活動 10 月 《募金目標額 20,000 円以上》
- (2) 老人クラブと合同 グラウンドゴルフ大会 11 月
- (3) 健康体操 年 3 回

専門部以外の助成組織

- (1) 子育て支援 年 3 回
- (2) ふれあい健康クラブ(さわやか体操) / いきいきクラブ
- (3) 災害時要援護者の掘り起こし活動(各、町内会の福祉委員が中心)
- (4) 災害時要援護者の避難訓練(各、町内会の福祉委員が中心)

平成23年度 福祉委員会の組織と委員

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
委員長	菊川孝昌	在宅福祉推進 専門部長	高須佐千代	ふれあい活動 専門部長	柵木利幸
副委員長	近藤和美	委員	石田 修	委員	鈴木百合子
副委員長	野村みさを	委員	小島陽子	委員	小林千賀子
事務局長	佐野幹子	委員	小林見知子	委員	伊藤忠良
会計	平松宗代	委員	多湖雅子	委員	竹中節夫
監査	市川聡明	委員	清水良治	委員	竹内喜則
監査	堀 誠一	委員	松下義明	委員	柴田高利
小学校長	小倉敏幸	委員	蜂須賀珠代	委員	市川 正
前市社協会長	中野千早	委員	佐田勝彦	委員	石川フサ子
柿沼クリニック	院長	委員	浅岡正徳	委員	柵木光江
小出クリニック	院長	委員	兵藤嘉子	委員	伊藤たかこ
総代会長	石川義弘	委員	福岡みよ子	委員	鎌田ちあき
社教委員長	多湖実松	委員	萩原淳弘	委員	野村さおり
広報研修 専門部長	小島資行	委員	日名悦子	委員	上野照美
委員	永田正男	委員	宮碓嘉子	委員	牛場佳子
委員	堀野八重子	委員	兵藤一則		
委員	板谷義雄	委員	兵藤紀之		
委員	高須 覚				
委員	山本よし江				
委員	八田勝義				
委員	蜂須賀長治				
委員	吉田保廣				



福祉だより

「これからの地域福祉を考える」

岡崎市で 1 7 番目に誕生した西部学区福祉委員会は
この数年間、公共、自治の援助を受けて活動して参りました。
「地域住民が更に満足する福祉」を考える時、住民の助け合いは
必要不可欠です。
これからは役員、委員だけではなく「町民総参加の福祉」
にしていきたいと考えます。

平成 2 3 年度方針

今年は、3 つの柱を太く、長く延ばす活動に取組みます。

- 1、高齢者が困らない地域創り
(激励訪問、お食事会、重点：災害時要援護者の支援)
- 2、子供がすくすく育つ環境創り
(子育て支援、小学校へのボランティア活動)
- 3、地域住民が楽しみ、有意義に住める交流の場創り
(学区運動会、グランド G F 大会、重点：健康体操)



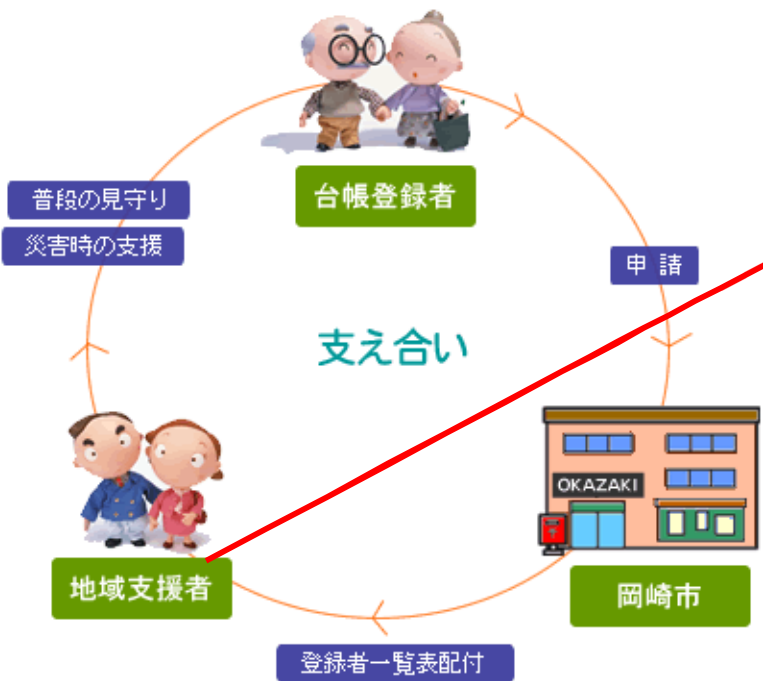
六ツ美西部学区福祉委員会
委員長 菊川孝昌

しなやかで ～ 、リズミカルで 、ハートがあって 、 **元気になるよー 健康たいそう！**



災害要援護者に、福祉委員は重要な役割を果たしています。

いざという時のために



災害時要援護者等それぞれの役割

災害時要援護者は、

- ・ 個人情報の開示についての同意と申請書を提出します。
- ・ 災害に対する自己管理と防止意識の向上に努めます。

地域支援者（防災防犯協会、学区福祉委員会、民生委員児童委員）

- ・ 平常時は地域支援者が学校や商店街など地域団体と連携を図り、登録者一覧表を利用して、防災マップ等を作成したり、声掛け、困りごとの有無を確認などの支援をお願いします。
- ・ 大規模災害発生時は防災防犯協会などが中心となり、被災者への通知、救出や避難誘導をします。（直後から当日）（登録台帳に登録の有無に関係なく、被災の状況による対応となります。）その後、登録一覧表の把握や安否確認を地域の支援者により行います。（概ね当日から3日以内）

→さらにその後、市でも要援護者(台帳登録者以外も含む。)の把握や安否確認を行います。

市の役割

- ・ 災害要援護者制度のしくみと役割分担を決めます。
- ・ 重度障がい者や一人暮らし高齢者の情報を把握し、民生委員児童委員に調査を依頼します。
- ・ 調査結果において援護を求める人の台帳(要援護者台帳)を整理し、登録一覧表を作り地域支援者に配付します。
- ・ 地域支援者のほか地域の医師、保健師、看護師、薬剤師、地域包括支援センターなど関係者に災害時要援護者支援の協力を依頼します。

- ・ 制度の周知を市政だよりなどにより行います。

災害要支援者に任命された、六ツ美西部学区各、町内会の災害要支援者担当の福祉委員さん紹介

赤浜町1区 佐田勝彦

要援護者 9 名

助け合いの気持ちをもって共有できる対話で、一人一人の安否確認の把握を見守っていききたいと思います。



中之郷団地 松下義明

要援護者 44 名

個人情報の保護、守秘義務の問題いまや地域住民の実績 把握の難しい時代であるが、高齢者の見守りが必要である。



赤浜町2区 板谷義雄

要援護者 7 名

一歩 一歩小さな活動でも必ず大きな力と成る事を信じて、見守り活動をしします。協力者と共に進みたい。



法性寺町1区 石田 修

要援護者 22 名

町内防災訓練の時要援護者の方また支援して下さる方の参加を呼びかけて行きたい。民生委員さん。と



赤浜町3区 浅岡正徳

要援護者 5 名

災害が起きない事が何よりですが万一を想定し、日頃から万全な体制作りが大切と考え活動して参ります。



法性寺町2区 永田正男

要援護者 10 名

安否確認・見守り対象者は、5 名です。また、福祉委員の性格について十分な理解をいただけないので、啓蒙に努めたいと思います。



赤浜町4区 竹中節夫

要援護者 8 名

少しでもお役に立てればと思っています。



宮地町東 小島陽子

要援護者 16 名

安否確認、見守り活動対象者の激励訪問。災害時要援護者をご近所の人と一緒に逃げるなどの援助をお願いしています。



赤浜町5区 竹内喜則

要援護者 16 名

普段から近隣が自然に気にしあい、必要なら助け合うことが目標の活動では。目指せ！福祉委員のいない町



宮地町西 蜂須賀珠代

要援護者 3 名

災害時に支援できるように、普段から見守り活動、声かけなどして、委員として出来る範囲の活動をしていきたい



中之郷町 堀野八重子

要援護者 12 名

障害のある方は家族でしっかりケアをしておられたり、一人暮らしの人、自分でキチンとやって見えます。見守りと声かけに努めます。



宮地町中 小林見知子

要援護者 9 名

地域社会で助け合って生活できるよう委員としてそんな支援が出来るか考え活動していきたい。



地域支援者

は

普段の見守り

災害時の支援

を担当します。

HP 検索名 「六ツ美西部学区福祉委員会」をご覧ください